

HOZAN

CL-940

エアシャワーブース

CL-940S

エアシャワーブース(送風機付)



本製品は作業者の衣類に付着した
塵埃を除去するための装置です。
用途以外には使用しないでください。

取扱説明書

このたびは CL-940 エアシャワーブース / CL-940S エアシャワーブース(送風機付)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品は作業者がクリーン環境へ立ち入る際に使用することで、管理区域の塵埃増加を抑制することができるブースです。

業務用



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店もしくは当社までお申し出ください。この取扱説明書には下記のマークをつけています。

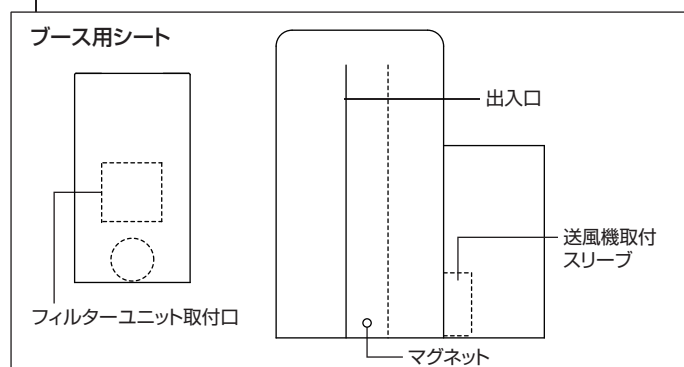
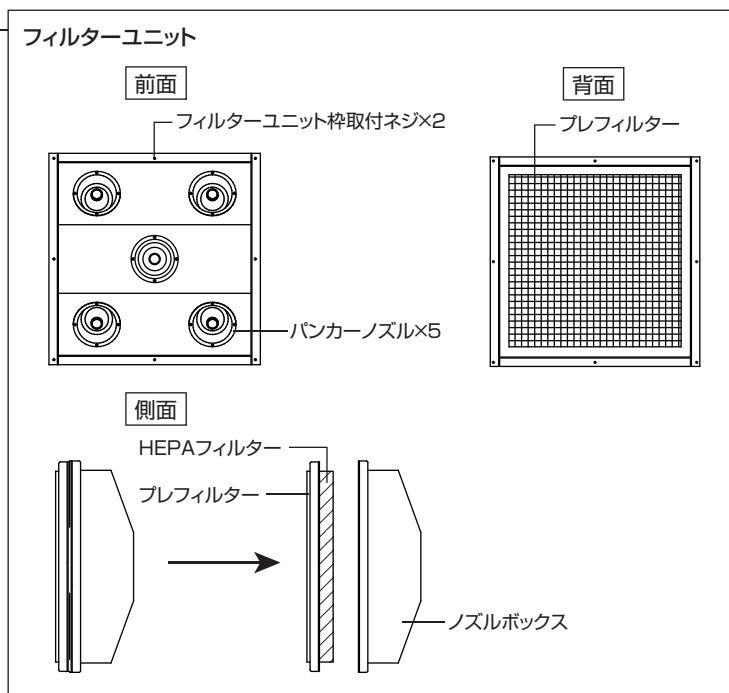
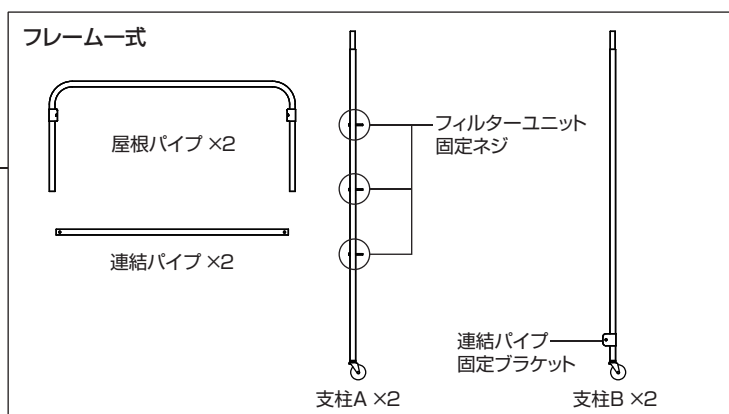
拡大損害が予想される事項

- この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

もくじ

各部の名称	2-3
安全上のご注意	4
本体の使用方法	5-11
・ フレームの組み立て	5-6
・ シートとフィルターユニットの取り付け	7-8
・ 送風機とエアシャワーブースの設置	8-10
・ 使用方法	11
基本仕様	12
交換部品・オプション	12
日常点検	13
メンテナンス・保管方法	13-15
・ フィルターの交換	13-14
・ 本体の保守・お手入れ	15
・ 保管方法	15
製品の廃棄について	15
故障かな？と思ったら	15
お問い合わせ窓口	15

各部の名称



各部の名称

梱包内容



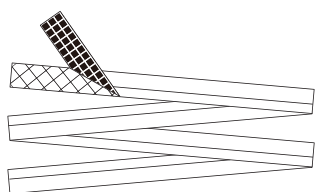
ブース用シート



フレーム式

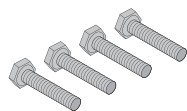


フィルターユニット



面ファスナー(フック、ループ)
L=2100mm×2、
L=600mm×2

連結パイプ固定用



ボルト(M6×40)×4



平ワッシャー(M6)×4



スプリングワッシャー(M6)×4



ナット(M6)×4

フィルターユニット固定用



平ワッシャー(M5)×8



スプリングワッシャー(M5)×8



ナット(M5)×8



フットスイッチ



送風機

※CL-940Sのみに付属

用意するもの

- 送風機(株式会社スイデン SJF-300RS-1 または同等以上の能力を持つもの) ※ 送風機吸入部の最大径450mmまで
- アース線
- プラスドライバー ⊕No.2
- スパナまたはメガネレンチ (10mm)
- ナットドライバー (8mm)
- 脚立
- 養生シート(組み立て時の製品と床面の保護用)
- 粘着マット CL-935/936 クリーン粘着マット など

安全上のご注意

この取扱説明書には下記のマークを付けています。
使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

⚠ 拡大損害が予想される事項	🚫 禁止行為	❗ 必ず行う	🚫 分解禁止
----------------	--------	--------	--------

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠ 警告 …死亡、重傷をともしう重大事故のおそれがある内容のご注意
⚠ 注意 …傷害や物的損害のおそれがある内容のご注意

なお、⚠ 注意 として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。

⚠ 警告 死亡、重傷をともしう重大事故のおそれがある内容のご注意		
送風機について		
絵表示	重要事項	危害・損害
❗	CL-940Sのみ 送風機の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。	感電・火災・ケガ・故障のおそれがある。
設置・作業環境について		
❗	水平で安定した場所に設置する。	ケガ・故障のおそれがある。
🚫	屋外で使用しない。	
🚫	腐食性のガスや可燃ガス、可燃スプレー類、粉塵の影響を受ける場所では使用しない。	爆発や火災、感電事故のおそれがある。
ご使用にあたって		
🚫	分解、改造をしない。	ケガ・故障のおそれがある。
❗	異音、異臭など異常が感じられたときには直ちに使用を中止する。	感電、火災のおそれがある。

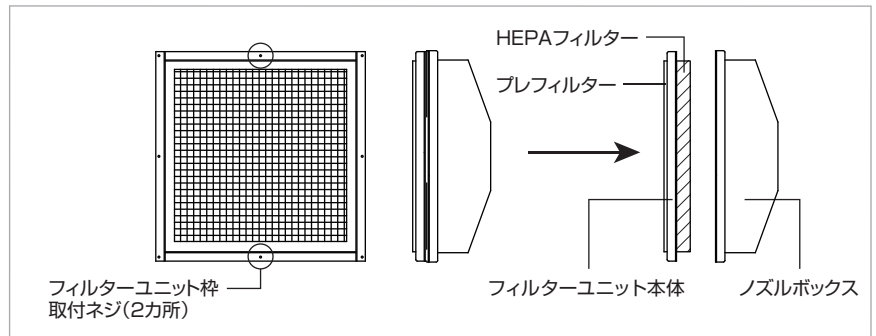
⚠ 注意 傷害や物的損害のおそれがある内容のご注意		
ご使用にあたって		
絵表示	重要事項	危害・損害
❗	フィルターユニットは衝撃に注意し、丁寧に扱う。	フィルター破損のおそれがある。

本体の使用方法

フレームの組み立て

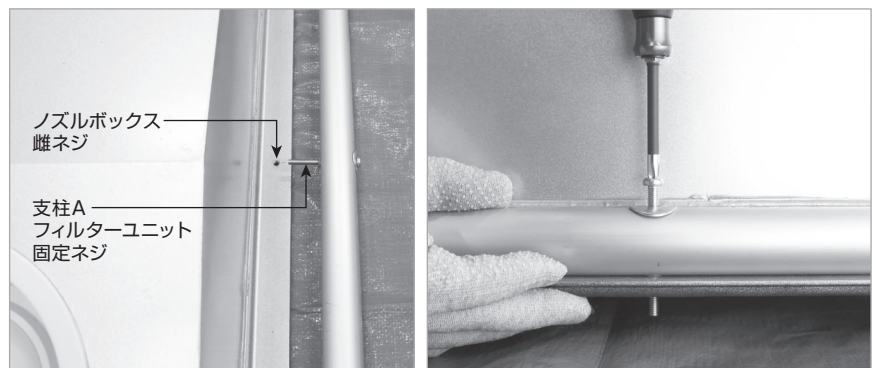
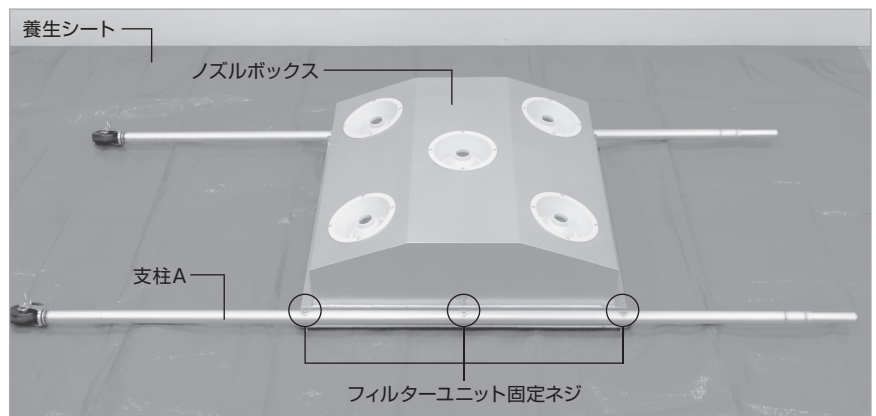
1. フィルターユニットからノズルボックスを一旦取り外す

フィルターユニット枠取付ネジをドライバーで取り外します。
HEPAフィルターとプレフィルターを傷つけないよう注意しながら、ノズルボックスを取り外してください。



2. 支柱Aにノズルボックスを取り付ける

本体と床を保護するために養生シートを敷きます。その上にノズルボックスを置き、支柱Aのフィルターユニット固定ネジとノズルボックス側の雌ネジを合わせます。
床面を傷つけないように手を添えて持ち上げ、ドライバーでネジを締め込み固定します。
ネジは支柱1本あたり3カ所で、合計6本あります。ノズルボックスに上下の向きはありません。



3. 1.で取り外したフィルターユニット枠取付ネジ2カ所をノズルボックスの表側から取り付ける

フィルターユニット本体は「シートとフィルターユニットの取り付け」で取り付けます。



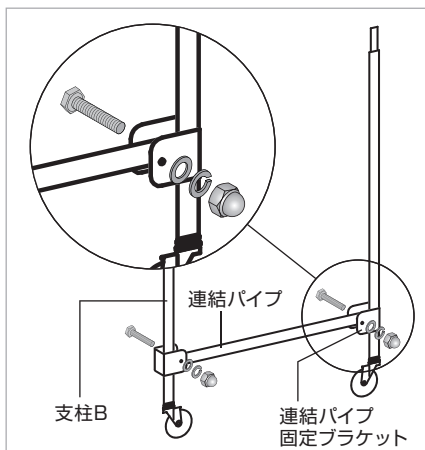
本体の使用方法

フレームの組み立て

4. 2本の支柱Bと連結パイプを接続する

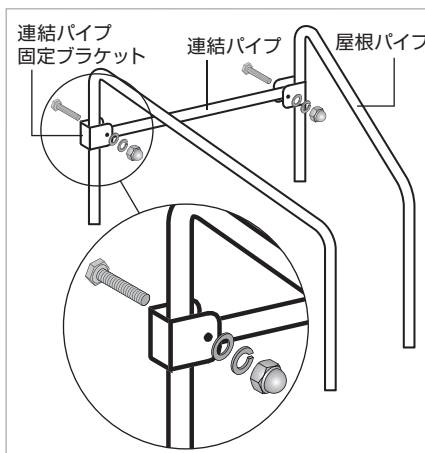
連結パイプ固定ブラケットにボルトを通し、平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順で取り付け、スパナで締め込み固定します。

2本の連結パイプのうち、1本は支柱Bに、もう1本は屋根パイプに取り付けます。屋根パイプへの取り付けは手順5.を参照してください。



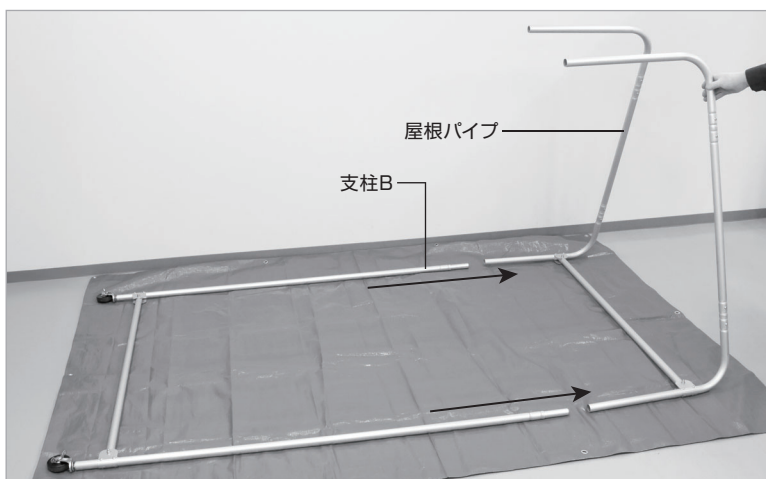
5. 2本の屋根パイプと連結パイプを接続する

連結パイプ固定ブラケットにボルトを通し、平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順で取り付け、スパナで締め込み固定します。



6. 床に寝かせた状態のまま、屋根パイプと支柱Bを接続する

屋根パイプは支えていないと転倒します。



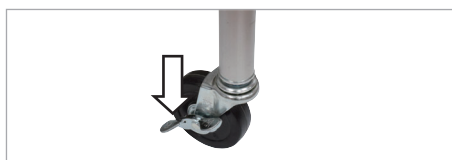
7. 床から起こし、支柱Aを接続する

ノズルボックスの向きに注意して接続します。

この時、キャスターにロックをかけることで作業が安定します。

キャスターのロック

すべてのキャスターをロックしてください。
キャスターのペダルをON側に踏み込むとロックします。

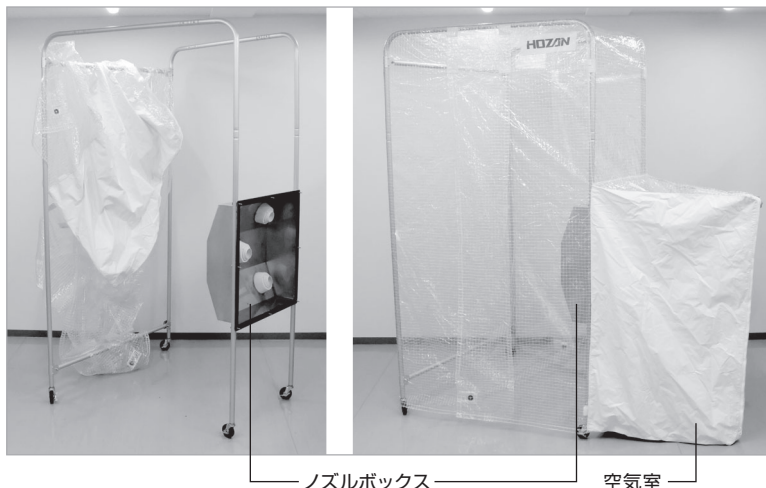


本体の使用方法

シートとフィルターユニットの取り付け

1. ノズルボックスの反対面からフレームにシートをかける

白い不透明のシート（空気室）が縫い付けられている面が、ノズルボックス側になります。



2. 空気室のファスナーを下から上まで全開にする



3. シートに開けられたネジ穴8カ所にノズルボックス背面から出ている雄ネジを通す



注意 エア漏れのおそれがある。



ネジでシートを傷つけないように注意してください。



4. シート裾に取り付けられている面ファスナーでフレームへ固定する



本体の使用方法

シートとフィルターユニットの取り付け

5. フィルターユニット本体をノズルボックスにセットする

注意 フィルター破損のおそれがある。

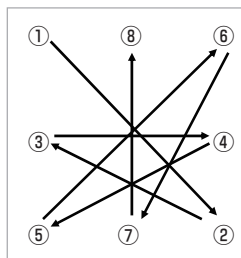
! フィルターユニット固定ネジでHEPAフィルターを傷つけないように注意してください。



6. フィルターユニット固定ネジ、フィルターユニット枠取付ネジに平ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順に取り付けてナットドライバで締め付ける

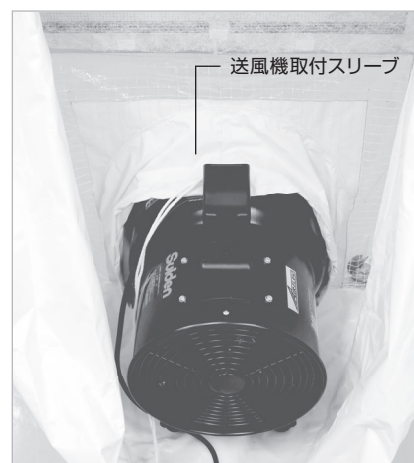
注意 エア漏れのおそれがある。

! 8カ所のナットを均等に締め付けてください。



送風機とエアシャワーブースの設置

1. 空気室内の送風機取付スリーブに送風機の吸気側を挿入する



2. 紐を絞りながら、左右の紐をそれぞれ一周巻きつけて解けないように結ぶ 送風機は吸気口をエアシャワーブースの内側の壁面に合わせた位置に設置してください。

注意 エア漏れのおそれがある。

! 紐は送風機取付スリーブの上から巻き、しっかりと締め付けてください。

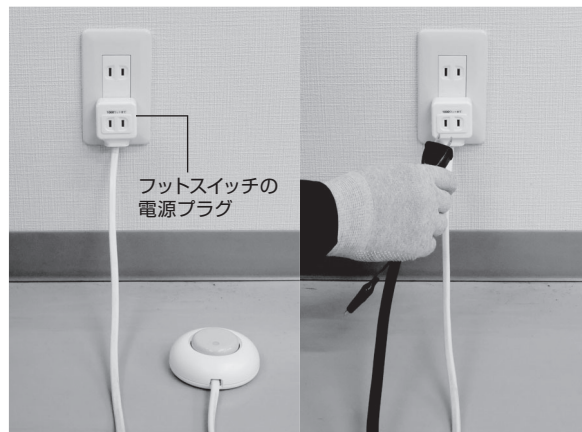


本体の使用方法

送風機とエアシャワーブースの設置

3. フットスイッチの電源プラグをコンセントに差し込み、送風機の電源プラグをフットスイッチのコンセントへ差し込む

この時、送風機のスイッチがOFFになっていることを確認してください。



4. フットスイッチをエアシャワー室内に設置する



5. 送風機のスイッチをONにする

フットスイッチがONの状態になっていると、送風機が起動します。一旦フットスイッチを踏み、OFFにしてください。



6. 電源コードを空気室開口部から出す

送風機が電源コードを踏みつけていないか確認してください。

7. ファスナーを閉じ、電源コードがファスナーの閉じた位置から出るようにセットする



本体の使用方法

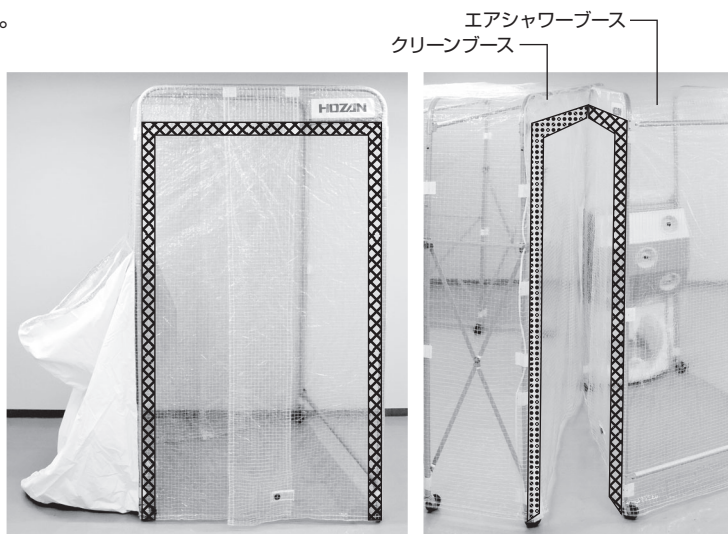
送風機とエアシャワーブースの設置

8. 本製品を設置する

フレームに付属したキャスターで自由に移動ができます。
(使用時はすべてのキャスターをロックしてください。)
移動時は、送風機を一旦取り外して動かしてください。
支柱Aの1本に帯電防止対策用のアース端子を設けています。
任意のアース線を接続することでシート部分を含みアースできます。

クリーンブースと接続して使用する場合

それぞれの出入口の接続面に付属の面ファスナーを貼り付けて固定します。

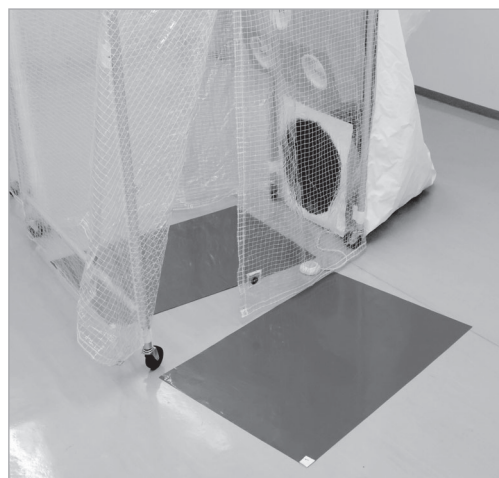


面ファスナーのフック側(触ると硬く感じる面)の剥離紙をはがし、上図の位置へしっかり押さえつけて貼り付けます。

クリーンブースの取り付け面にループ側(柔かく感じる面)の面ファスナーを貼り付け、エアシャワーブースと合わせて押さえ、固定します。

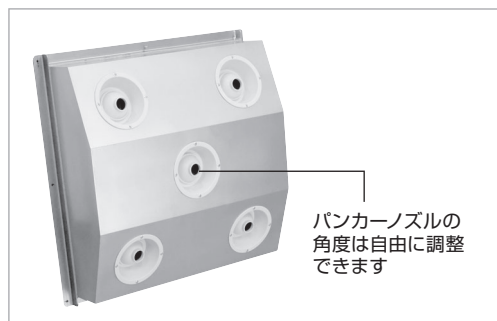
9. 粘着マット(別売)を敷く

エアシャワー室への入室前に、履物の底に付着した汚れ、塵埃を取り除きます。
また、エアシャワーブース内にも敷くと、内部で舞う塵埃の低減効果が期待できます。



10. パンカーノズルを調整する

風が入室者の全身に当たるようにパンカーノズルの角度を調整します。



本体の使用方法

使用方法

1. エアシャワー室への入室前に粘着マット上で足踏みし、履物の塵埃を取り除く



2. 入室後、出入口の裾部にあるマグネットが閉じていることを確認し、フットスイッチを踏んで送風機を起動する



3. ゆっくりと2～3回転しながら全身に風を浴びる
回転後は、その場でしばらく静止し、ブース内の塵埃が落ち着くのを待ちます。
風を浴びる時間は、合計で約30秒が目安です。
粘着ローラーを併用すると、衣類の埃をより効果的に除去できます。



4. 再度フットスイッチを踏んで送風機を停止し、クリーンブースへ静かに移動する

おすすめ提言

- ・ 粒子が小さな埃はエアシャワーの風だけでは除去しきれません。粘着ローラーの併用をおすすめします。
- ・ 送風の清潔を保つために、エアシャワーブースおよび空気室内を定期的に清掃してください。
水を含ませたウエスを使用し、溶剤やクリーナーの使用は避けてください。

基本仕様

CL-940

外形寸法	1900 (W) ×2200 (H) ×1200 (D) mm
吐出風速	20/22m/sec (50/60Hz) (推奨送風機使用時)
吐出風量	7.1/7.7m³/min (推奨送風機使用時)
ノズル	樹脂製バンカーノズル×5
フィルター形式	HEPA (メインフィルター)、不織布 (プレフィルター)
捕集効率	0.3µm 99.97%以上
推奨送風機	株式会社スイデン SJF-300RS-1 (または同等以上の能力を持つもの)
シート材質	強化繊維入り防災タイプPVCシート (帯電防止剤練り込み) 厚さ0.3mm
フレーム材質	アルミ合金
重量	30kg (シート7kg+フレーム6kg+フィルターユニット17kg)

■ フットスイッチ (コード長2.5m) 付

CL-940S

外形寸法	1900 (W) ×2200 (H) ×1200 (D) mm
吐出風速	20/22m/sec (50/60Hz) (付属送風機使用時)
吐出風量	7.1/7.7m³/min (付属送風機使用時)
ノズル	樹脂製バンカーノズル×5
フィルター形式	HEPA (メインフィルター)、不織布 (プレフィルター)
捕集効率	0.3µm 99.97%以上
付属送風機	株式会社スイデン SJF-300RS-1
シート材質	強化繊維入り防災タイプPVCシート (帯電防止剤練り込み) 厚さ0.3mm
フレーム材質	アルミ合金
重量	30kg (シート7kg+フレーム6kg+フィルターユニット17kg) ※送風機を除く

■ フットスイッチ (コード長2.5m) 付

交換部品・オプション

Webサイトに交換部品などの情報を掲載しております。

交換部品



CL-940



CL-940S

品番	品名	用途・仕様
CL-901-2	HEPAフィルター	1枚入・フィルターユニット1台分。
CL-940-1	プレフィルター	

オプション

品番	品名	用途・仕様
CL-935	クリーン粘着マット(5枚入)	靴に付着したホコリの除去に。 床に貼りつけて使用する粘着マット。
CL-936	クリーン粘着マット(1枚入)	

日常点検

安全にご使用いただくために下記の日常点検をお勧めします。

点検項目	点検内容	処置方法
電源	電源プラグやコンセントにホコリが付着していませんか。	ホコリを取り除いてください。
	電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩んだりしていませんか。	断線など破損している場合は使用しないでください。
アース	正しくアースしていますか。	送風機の取扱説明書を参照してください。
フィルター	フィルターの点検は定期的に行っていますか。	13～15ページを参照してください。
部品	ネジやツマミなどの部品が正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けることができない場合は当社まで点検・修理をご依頼ください。
音・振動・匂い	異常な音、振動、匂いなどはしませんか。	異常がある場合は使用せずに、当社まで点検・修理をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

フィルターの交換

プレフィルターの交換方法

1. 空気室のファスナーを開き、シートを広げる



2. フィルターをはがす

プレフィルターは面ファスナーでフィルターユニット本体に取り付けられています。
プレフィルターの下角を掴み、フィルターに絡まった塵埃を落下・飛散させないように、ゆっくりと丁寧にはがしてください。



3. 新しいフィルターを取り付ける

取り付け面に汚れが無いか確認してください。



4. フィルターを固定する

面ファスナーに押し付けるように固定してください。
送風機の作動時は風圧でフィルターが本体に押し付けられるため、プレフィルターと本体の間にわずかな隙間があっても大丈夫です。

5. ファスナーを閉じる

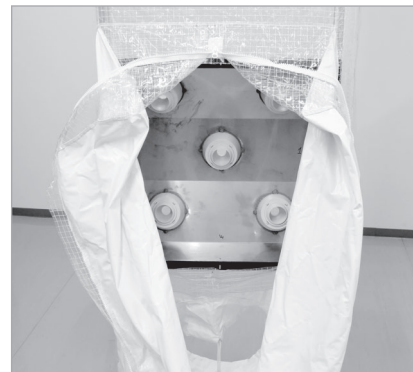
空気室内を水を含ませたウエスで清掃し、ファスナーを閉じます。

メンテナンス・保管方法

フィルターの交換

HEPAフィルターの交換方法

1. 空気室のファスナーを開き、シートを広げる



2. ナットを取り外す

フィルターユニット本体の8カ所のナットを緩め、ワッシャー類と共に取り外します。



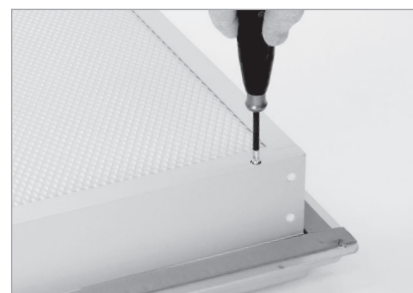
3. ノズルボックスからフィルターユニット本体を取り外す

フィルターユニット本体を両手で持ち、本体に取り付けられているHEPAフィルターをフィルターユニット固定ネジで傷つけないように注意しながら、ノズルボックスから取り外します。



4. フィルターユニット本体からHEPAフィルターを取り外す

HEPAフィルターアルミ枠の4カ所のネジをプラスドライバーで緩めて取り外し、HEPAフィルターをフィルターユニットから取り外します。



5. 新しいHEPAフィルターを逆の手順で取り付ける

このとき4カ所のネジを均等に締め付け、HEPAフィルターがフィルターユニット本体に隙間なくバランスが取れた状態で密着するように注意してください。



注意 故障のおそれがある。



HEPAフィルター導入側の濾紙には触れないでください。非常に傷つきやすく指先で触れるだけでも穴があいて機能が低下します。

6. 「シートとフィルターユニットの取り付け 5.と6.」の手順に従って、フィルターユニット本体をノズルボックスに戻す

メンテナンス・保管方法

本体の保守・お手入れ

- プレフィルターは定期的にホコリを掃除機等で吸い取ってください。
- プレフィルターの汚れが著しいときやHEPAフィルターの汚れが認められたときにはただちに交換してください。
HEPAフィルター、プレフィルターは水などでの洗浄はできません。
- フィルターを交換するときは、送風機の電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

保管方法



注意 ケガや器物損傷のおそれがある。



子どもの手の届かない安全なところに保管してください。

- 電源スイッチをOFFにしてから電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。
- 高温・湿気・ホコリを避けて保管してください。

製品の廃棄について

廃棄するときは各自治体（または事業所）の廃棄方法に従ってください。

故障かな?と思ったら

製品に異常を感じたら、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
技術的なお問い合わせ、修理のご依頼などに対応しております。
本製品は消耗品です。寿命は使用条件や、回数によって異なります。

よくあるご質問（FAQ）

Webサイトでは、頻繁にお問い合わせがある質問を製品カテゴリごとにまとめて紹介しています。
ぜひ活用ください。



<http://faq.hozan.co.jp/support/>

お問い合わせ窓口

ホーザン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132

E-mail : th@hozan.co.jp

[月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00]

<https://www.hozan.co.jp/>



製造元 **ホーザン株式会社**

本社 〒556-0021
大阪市浪速区幸町1-2-12
<https://www.hozan.co.jp/>